

6 今年度の研究実践<陶芸班>

(1) 授業研究 (R4.8.30)

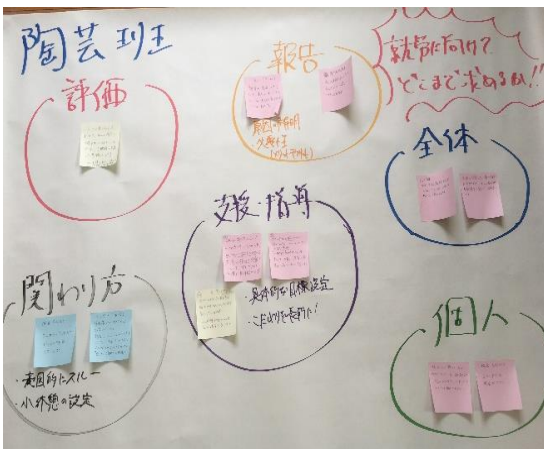
①作業班での課題

- ア、担当職員の大半が未経験者で、技術指導が未熟であり、ろくろを用いた製品作りに課題がある。
- イ、製品の完成度を高めるための道具や手順の工夫が必要。
- ウ、環境に影響されることも多く、製品として安定した物を作成することが難しい。

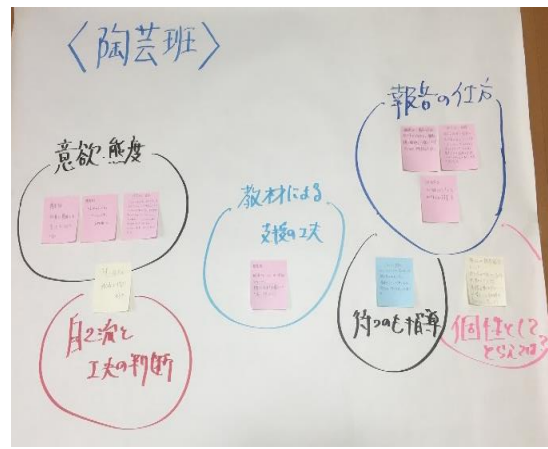
②生徒が主体的に作業学習に意欲をもって参加するための支援方法

- ア、その日の体調等に応じた作業内容の提示や、作業量の調節をすることで負担感を少なくする。
- イ、動画を用いて完成のイメージをもたせる、自分が作りたいものを明確にすることで意欲を高める。
- ウ、完成したものを職員と振り返り、良かった点や改善点を共有する

ワークショップ型での資料



(R4. 8.30 第1回授業研究)



(R4.10.25 第2回授業研究)

(2) 第1回授業研究会からの意見や各作業班でのふりかえり

意欲・態度	支援・指導	報告の仕方	関わり方
<p>○生徒は安定した取り組みができており、力のいる菊練りを最後まで行うことができていた。</p> <p>○よく話す生徒も、しゃべらずに粘土練りをやっていた。</p>	<p>○皿づくりのポイントが黒板に分かりやすく表示されておりチェックしやすい、同質の製品が作りやすい。</p> <p>●一人一人の良くなった点について、ほめる場面や言葉がけがあると思った。(職員の共通した意識として)</p> <p>●皿作りのポイントと同様に粘土練り、その他のポイントも表示してはどうか。</p>	<p>○遅刻の理由を本人の実態に合わせて確認していた。</p> <p>○報告が定着してきている。本人がもっと声を出さなければと意識しているのがよかった。</p>	<p>○なごやかに会話をしながらさり気なく指示や注意をしていて、リラックスして作業に取り組んでいた。</p> <p>●なれあいに自分からもっていつている。報告を細かく入れることで少しは手がとまらなくなるのではないか(集中力の継続)。</p> <p>●本人からの訴えをどこまで許容しているか。</p>

(3) 授業研究 (R4.10.25) 2回目の授業を実施し、1回目からどう変化したのか。

意欲態度	支援・指導	報告の仕方	関わり方
<p>○作業に見通しをもち、手を休めることなく取り組んでいた。</p> <p>○途中、声をかけられた時も、手を止めずに取り組んでいた。しっかりと手を動かしていた。</p>	<p>○教材による支援の工夫として失敗作の見本を提示することで丁寧に作業していた。</p>	<p>○対象生徒に対して、製品作りのポイントをプリントにし、報告の際、教師と一緒にクリアしているか確認していた。</p> <p>○報告の場面で、複数の見学者がいる中でも、しっかり聞こえるように報告することができていた。教師との距離を意識させる声かけがやる気を促していた。</p> <p>●担当者話しているときは、動かずに正しい姿勢、視線を動かさない態度が望ましい。</p> <p>→個性として考えては？</p>	<p>●対象生徒の報告の際、本人の意思を汲み取ってしまう声かけをしてしまった場面があった。本人からのアクションを待つのも指導ではないか。</p>

7 研究のまとめ

(1) 成果と課題

- ①進路実現に向けて明確な指標があったほうが生徒の意欲向上、職員の指導の統一にもつながり、具体的な目指す姿が見えやすくなると感じた。
→一般就労 (A型) は～ができる、～ができないと生活介護など
- ②作業を進める中で、決められた手順に沿って作業をすることは大事だが、効率や生徒の特性に応じて本人がやりやすい方法を認め、ストレスなく継続して取り組められる環境を設定することも場面によっては必要になる。
→職員と確認する場面をもつことでコミュニケーションスキルの向上につなげる
- ③自分たちが作った製品を自分たちで売って、直接お客さんとやりとりすることが意欲を高めることに直結すると感じる。また、このような機会を通じて生徒の気づきが増え、考え行動することにつながるのではないか。→販路拡大、販売機会を増やす

(2) 来年度の取り組み

- ①段もしくは級のようにステップアップするシステムにして、生徒及び教師双方ができていること・課題を明確にできる仕組みを取り入れる。
→1 2箇条の項目を得点化することで、自分の現在地を把握し、自己理解や作業への意識付けを図る
- ②作業の進め方として、はじめは手順通り進めるが、慣れてきたら効率、正確性が上がるよう本人のやりやすい方法に任せる場面を作る
→作業手順の確認、報告、相談の徹底、正確の判断基準を明確にする